



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【世界共通】ソーシャルネットワーク
【日本の教会】家庭の平和

2018年度 第二回 司教評議会と本部会議
教区年間目標を見据えて

5月15日(火)、今年度第1回司教評議会と本部会議が教区本部事務局で行われた。司教の諮問機関である司教評議会では、①今年の教区目標「神のいつくしみをさらに生き、広めよう!」について情報交換、②教区災害被災者支援室より、被災者支援及び生活困窮者支援募金「二葉献金」運用規定について、③「教区の日」について、④その他(ア)各地区よりの報告(イ)諸委員会よりの報告(ウ)全司教研修会について、が話し合われた。

司教評議会でも話し合われた要点は下記の通り。

①教区目標についての情報交換

例えば、堅信の秘跡をどのように青少年に理解させ、霊的生活に結び付けるかと問われると、現代は困難になっているとしか言えない。教会側の青少年への関わり方を一考する必要がある。

また、葬儀について言えば、現代は通夜や本葬の場所はまちまちである。その仕方でも家族葬などがあつたりして一様ではない。遺族も信者であったり、未洗者であつたり様々。しかし、宣教のチャンスとして捉え、教会側から接してい

く必要があるのではないかなど、具体的な話が飛び出していた。

②「二葉献金」運用規定について

継続審議となった。③「教区の日」について 内容を考慮してほしいとの意見が出された。既に「教区の日」実行委員会は動き出し、内容もほぼ決定しているが、当日には、司教着座10周年を鑑み、振り返りと展望を、また教区創立100周年に向けて足掛かりとなるようなお話を司教様にしていたいただきたいと話であつた。

④その他 (ア)福岡、佐賀、熊本、筑

後の4地区から活動報告がなされた。各地区とも教区の年間目標を意識して動いているのが感じられた。

(イ)◆宣教委からは、各部署とも宣教を意識した活動をしていることが報告された。◆教区情報センターからは、教区ウェブサイトのリニューアルの件とハンドブックのPDFファイル形式の配布について、理解と協力が求められた。◆建設・財務委員会からは、財政援助を願うときの仕方が一部変わったことが報告された。◆美野島司牧センターからは、新築落成式と披露を行えたことに感謝、困っている人の為に活用してほしいとの話があつた。

(ウ)全司教研修会が6月19日から21日にかけて行われる。テーマは「み言葉に奉仕する司教」。プログラムが知らされ、研修会の前に「アンケート」がなされる

ことが話された。

前田万葉大司教、枢機卿に



教皇フランシスコは、5月20日、バチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「アレレヤの祈り」を祈る際、6月29日の枢機卿会議において、14人の枢機卿を親任することを発表。

日本からは、トマス・アキナス前田万葉大司教(大阪教区、69歳)が選ばれ、日本人として6人目の枢機卿となる。前田大司教は長崎県南松浦郡新上五島町仲知の生まれ。1975年に司教叙階。2011年9月23日に広島教区司教叙階、14年8月に大阪教区大司教に任命され、同年9月23日に着座。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録へ

日本の文化庁は5月4日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について、世界遺産委員会の諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)の評価結果が4段階評価の中で最も高い「(世界遺産一覧表に)記載」となったことを発表した。最終的には6月24日から7月4日まで中東のバーレーンで開かれる第42回世界遺産委員会で、世界遺産一覧表への記載の可否が決定される。

本資産は「潜伏キリシタン」が禁教政策の中、信仰を守り、独特の文化を育んだことを物語る12の資産から構成されており、福岡教区下では「天草の崎津集落」(熊本県天草市)が登録されている。



総会に集った修道女ら

福岡教区修道女連盟総会
喜びをもって生きる

2018年度の福岡教区修道女連盟総会が、4月28日(土)、大名町カテドラルセンターで行われた。教区内の18の女子修道会から51人の修道女が参加した。総会では、宮原良治司教が、「神のいつくしみをさらに生き、広めよう」と題して講話。その後、修道女連盟の総会、グループでの分かち合いなどが行われた。

宮原司教は、「この10年間に、高齢化や修道者の減少などの課題はあるが、フランシ

スコ教皇が使徒的勧告『ガウデーテ・エト・エクスルターテ』(喜びなさい、大いに喜びなさい)で呼びかけるように、日常生活の中で希望をもって真実・本質を生きていきましよう」と語った。また、少年ダビデの例をとりあげ、「常識では考えられないことでも、唯一の全能の神がついてくれるという全幅の信頼をもって御父のようにいつくしみ深く生きることをさらに広めていきましよう」と励ましの言葉を送った。

司教の講話を受け、「現実の修道生活、共同体生活の中で、どのように具体化して生きていこうとしているのか」について、参加者らは率直に思いを分かち合った。「教育現場で福音の種まきをしている」「今いる場所でのこやかに挨拶することを心がけている」「高貴、高齢者として喜びのうちに、前向きに生きていたい」などの声が聞かれた。感謝のミサで総会を終了した。

2018年度、修道女連盟役員は以下の通り。担当司教古川健一神父、会長Sr.峰敬



キリストの光を受け派遣された参加者らとスタッフ

第53回福岡教区クルシリヨ
真のキリスト者への成長を目指す

子(コングレガシオン・ド・ノートルダム)、副会長Sr.畠山薫(聖心ウルスラ宣教女修道会)、会計Sr.青木光子(福音の光修道会)、書記Sr.藤田優香(礼拝会)。

例のクルシリヨ劇場が終わるころには、皆すっかり打ち解け連帯感に包まれていた。最終日は宮原良治司教が、今年の教区目標「神のいつくしみをさらに生き、広めよう」をテーマに講話。無縁社会と云われて久しい今、信徒の役割は、尊敬・信頼・対話による「交わり」を通して教会と社会、人と人との「かけ橋」になること。また、その土台として「三位一体の交わり」に生きることが大切と話した。司教は「共に神の国を目指して歩んでゆきましょう」と参加者を励ました。参加者は復活のろうそくからキリストの光を受け、派遣された。で、クルシリヨっていったいどんなことをするのか、ですって?それは来てみてのお楽しみ。来年はぜひあなたもいらしてみてください。

時の話題

「3万人」という数字

NHKスペシャルで「失踪・若者行方不明3万人」の数字に驚いた。数年間の日本の統計上「自殺者」「人工妊娠中絶、堕胎数」「児童施設入所者」がそれぞれ年間3万人。なおかつ「新型コロナウイルス」「新型出生前診断」が開始から3年で3万人」という数字が私の頭に浮かんだ。これらの数字は現時点で正確な数字とは言えないと思うが、私自身が記憶していた「3万人」という数字であった。「一人の生命が生かされるか、殺されるか」の数字でもある。これらの数字はどれも突き詰めれば「家庭」に起因する。人よりも物、経済的価値の優先、メディアやIT機器の介入などにより、神様からの贈り物であるはずの「一人の生命」が大切にされず、社会構成の「原点」であるべき家庭本来の機能が弱くなったという事でもある。

「家庭の平和と親子、夫婦、兄弟が互いを尊重し信頼と愛にもとづく家庭を築くこと」という6月の日本の教会の折りの意向について、ふと、私の母の葬儀の時のことを思い出した。「火葬場」での待ち時間、兄弟姉妹間で「自分が母に一番愛されていた」という話題になった。兄弟姉妹が多いにもかかわらず、それぞれが「いかに自分が母に愛されたか」の具体的な話となり、家庭において「無償の愛」に生きた母の姿を知らされたものである。

「家庭の平和」を考える時「3万人」という数字が示す今日の日本の家庭状況についても心にとめ、それぞれの数字が少しでも少なくなることを願い、自分が今置かれた場所でキリストの愛に繋がる「無償の愛」をもって積極的に生きていくことが求められているのではないだろうか。

シャトル聖パウロ修道女会 Sr.テレジア 富田 美智子 (児童養護施設 八代ナザレ園園長)



「今日、聖体を持って何してもいいですか?」「いいよ、その前に相談がある。私の死ぬ前に十字架とマリア様の像を処分できるだろうか?」「一緒に考えましょう」。電話のやり取りをした後、訪問した。その人は病気がちで気持ちも弱っていた。奥さんが話に入り、「この人の生前にある十字架とマリア様とキリスト教関係の物を処分したいのです。そして、私に必要なものだけ整理しておきたいのです。今少しずつ片付けに入っています。上のは私が知らぬ間に洗礼を授かっています。いろいろと不満があります」と言いながら、お茶を出した。まるで、夫がすぐにでも召されるような言い方だった。夫の方はもともと熱心な信者のはずだが、世話になっている妻にせがまれてか、弱腰。仕方なく、「もしもの時には連絡してください。それまでは見守ってもらってください」と返事した。長年一緒にいても心にあるものは消えないものだと感じた時であった。「私に味方しない者は私に敵対し、私と一緒に集めない者は散らしている」(ルカ11章)▼その日の病人訪問を共にしてくれたある婦人は、「インフルエンザにかかってしばらく教会に行けませんでした。が、とても寂しい思いでした」という。「いつも飾ってくれるお花が心配でしたか?」と聞くと、「いいえ、神様やみんなと会えなくて寂しかったのです」と答えた。心が安らぎ、うれしい気持ちになった。その人は成人洗礼を受け、最近では夫も夫の母も娘夫婦も孫も洗礼に導いた人である。(S)

「教区の日」報告書より② 筑後地区 二日市教会 ひとつになろう！

「教区の日2017」のミサの中で奉納された「小教区信仰活動報告書」。前月より各地区1つの教会の報告を要約して紹介。今回は筑後地区、二日市教会の取組みを紹介する。

◆ ◆ ◆

2017年度の二日市教会は、年間目標を「ひとつになろう！」―無関心でなく声をかけよう―とし、意識を持って取り組むこととした。まず、主の復活祭には見事な桜の木の下でお互いの喜ばしい顔を見合わせて楽しく過ごした。5月のマリア祭には隣接する幼稚園園庭前のマリア像の前から聖歌とともにロザリオを唱え、熊本被災者のために祈った。遠くにいる兄弟姉妹に思いを馳せた時であった。教会は今、新築の話が進められていて、一丸となって取り組まなければならない。そのためにもバザーなどを企画し、「二人ひとりが教会の肢体」となって、役割を持ち、

関わっていくことが大事なことでありと自覚するように促している。6月の信徒総会でもそのことが確認され、一同が心をつなげることができたように思う。また、少子化の波にあえぎながらも、5人の子どもが初聖体式に与ったことは神の恵みであった。他

美野島司牧センター 新築祝賀式 福音の喜びあふれるセンター



聖堂からあふれてミサにあずかる人々

5月13日(主の昇天)午前11時より、美野島司牧センター新築祝賀式が同センター

にも教会学校の親子レクレーションなどで明るい希望のある教会作りに努めているところである。更には寄愛会(男性の会)や女性の会などの活動を活かしたりして内部を強化すると共に、勉強会や講演会を開催したりして霊的にも向上するように努めている。これからと呼び掛け合い、関わり合って神の望まれる方向に歩みを進めていきたい。

で行われた。建物の祝福式は4月7日にすでに行われており(教区報2018年5月号既報)、この日は特にセンターで活動する諸団体のメンバー、ボランティア、支援者を中心に、近隣の司祭、修道者、信徒が集り新築を祝った。センターで通常行われているスペイン語ミサの参加者と共に、新築を祝うミサには多くの人が参加し、聖堂から人があふれていた。宮原良治司教は説教で「福音の喜びを、この施設を通して、様々な形



みんなで楽しんだ余興のアンデス音楽

で伝えていきましょう」と述べた。祝賀式では施設長のK・マルセル神父の挨拶、美野島公民館館長の祝辞、宮原司教の感謝の言葉に続き、センターで活動する団体の代表が活動の紹介と共に挨拶した。各団体の活動が、人々への深い慈しみの心から生まれ、多くの交わりに支えられ続いていることが伝わってくる挨拶が続いた。

現在、美野島司牧センターを拠点に活動している団体は①移住労働者と共に生きる「ネットワーク九州」②NPO薬物依存症者支援「九州DARC」③NPOホームレス支援「福岡おにぎりの会」④NPOホームレス支援「美野島めぐみの家」の4団体。昼食では「美野島めぐみの家」特製のすき焼き丼が振舞われた。琴と尺八、アンデス音楽、福岡コロレジオバンドなどの余興で盛り上がり、笑顔あふれる祝賀式となった。

<映画のご案内> 『father カンボジアへ幸せを届けたゴッちゃん神父の物語』

中央協議会広報推薦。新日本映画社配給。作品情報の詳細は <http://father.space-sarou.com/> 6月29日から福岡市中央区の「KBCシネマ」で。上映期間、時間等ご確認のうえ、お越しください。

カンボジアで、ポルポト独裁政権下に親や家族を失った心身ともに深い傷を負った難民の子どもたちを育て上げた、後藤文雄神父(ゴッちゃん88歳)神父の人生「巡礼の旅」の物語。カトリック中央協議会広報推薦。新日本映画社配給。作品情報の詳細は <http://father.space-sarou.com/>

秘跡について④ ゆるしと回心―ゆるしの秘跡について

『カトリック教会のカテキズム』はゆるしの秘跡は「洗礼後に犯した罪のゆるし」を与える秘跡であり、回心、告白、悔い改め、和解の秘跡などと呼ばれる、と述べています。かつては「告解」と呼ばれていたこの秘跡は、信者が司祭の前で自分が犯した罪を痛悔の念と回心の決意をもって告白し、罪のゆるしを授けられた上で、命じられた償いを果たすという仕方で行われることは誰でも知っています。しかしこの秘跡が洗礼、堅信、病者の塗油などとは著しく違う特徴があることに気が

付く人は少ないのではないのでしょうか。それは水、聖香油、聖油のようなものは一切使用されず、痛悔、告白、償いという行為、その根底にある自由意思がこの秘跡の本質に含まれる、ということです。

つまり罪を生じ、罪に加担したその同じ自由意思が、罪をゆるし、除去して罪人を聖化する秘跡の本質に取りこまれ、神の恩寵に「協働」しているという不思議さがゆるしの秘跡の神秘としか言い様のない不思議さなのです。罪をゆるすすちからの全体がキリストの受難のちからであり、神

の恩寵なのですが、それは罪人が恩寵に協力する働きを排除するものではなく、むしろそれを包みこんでいるのです。言いかえると、神に対する背き(offensa)である罪を犯すことによって神の不興・腹立ち(offensa)を引き起こした人間の自由意思は、神の恩寵によって悔悛・回心することによって、神の好意・恩寵(Gratia)を受けるにふさわしい自由意思に変わるという不思議さです。

この不思議さを正しく受けとめるためには、罪をゆるすのは神であり、悔悛・回心するのは罪を犯した人間だ、という風に、罪のゆるしと回心という二つを別々に切り離して考えるのではなく、ゆるしの

秘跡において神は恩寵によって告白する罪人のうちに真実の悔悛・回心を生ぜしめるのと同時に罪をゆるしてくださる、という風にすべてを神の恩寵の秩序のなかで理解するのが必要だと思えます。そうすると、罪の根源である自由意思そのものが神にたいする背きの状態から好意・恩寵、すなわち愛の交わりへと転回することが悔悛・回心なので、罪のゆるしとは文字通り罪を破壊し消滅させることであって、決して恩寵という衣で罪が神の前に覆われるだけのことではないのです。ですから罪を真実の悔悛と回心の心で告白するのは、裁判で被告が自ら犯した犯罪を告白することと同じではな

く、むしろ、ゆるしを与えてくださる神の限りない恵みとあわれみを宣言・讃美―これが「告白」(confessio)のより深い意味―することなのです。私たちは生涯の終わりまで罪人であることを自覚し、真実の内的悔悛を保たなければならぬと教えられています。それは悔悛が根源的に恩寵の働きによるものであり、恩寵による罪のゆるしの徴だからです。その意味で悔悛はキリスト信者の根本的な生き方である、と言えるのではないのでしょうか。

※今回「秘跡について」の最終回です。稲垣先生、ありがとうございました。

古賀教会信徒 稲垣良典

計報

トマス・キルケニー神父 (聖コロンバン会)



5月7日、アイルランドの聖コロンバン会本部付属老人ホームにて帰天。享年95。1922年アイルランド生まれ。1946年に司祭叙階。48年来日。50年間日本の3つの教区で司牧に従事された。福岡教区内では70〜71年に荒尾・玉名主任代行、74〜78年に熊本マリスト学園チャレン、78〜86年に玉名教会の主任司祭を務めた。98年にアイルランドに帰国。情に篤く友を大切に人だった。

ギユンタ・ケルクマン神父 (イエズス会)



5月15日、急性骨髄性白血病のため帰天。享年75。イエズス会生活55年。1942年ドイツ・ミュンスター生まれ。63年イエズス会入会。67年来日、74年司祭叙階。学校教育の使徒職に長年奉仕された。1997から6年間、泰星学園(現上智福岡中学高等学校)で教鞭をとられ、福岡教区内小教区や修道院、事業所でも奉仕された。人と交わることが好きで、様々な活動勉強会を通して、人々に示唆に富む導きを与えた。

【月例黙想会】
期 日：①6月9日(土)17時〜10日(日)15時
②7月14日(土)17時〜15日(日)15時
指導者：染野治雄 神父(御受難修道士)
費用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで
◆詳細はお問合せください
カトリック御受難修道士会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30〜16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokuso.com

【奉獻生活者のための黙想会】
①6月23日(土)夕〜30日(土)朝
②7月21日(土)夕〜28日(土)朝
指導：①来住英俊神父 ②染野治雄神父
費用：5,600円
PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

「若者、信仰、そして召命の識別」② 若者の喜びに協力する

2018年10月に開催されるシノドス「若者、信仰、そして召命の識別」に向けて、若者の声やシノドス関連の文書の内容を紹介する本コラム。小教区や地区、教区レベルで「教会に若者の姿がない」「教会の教えをどのように若者に伝えたらよいかわからない」「司祭・修道者の召命が減少している」などと語られることが多いが、シノドスの準備文書では論調が違ってくる。今回はその点を確認したい。

まずは「若者」について。準備文書ではまず、現代世界に生きる若者（約16歳～29歳、日本では一部15歳～34歳の統計を使用）の現状を把握しようと努めている。そして、ここで言う「若者」は洗礼を受けているものに限らない。「若者に寄り添うことは、先入観で作り上げた枠組みを越え、彼らがいる場所で出会い、彼らの時間と生活のペースに合わせ、彼らのことを真剣に考えることを必要とします」（準備文書より）。若者は確実に存在する。「若者」と出会っているだろうか…。教会が問われている。

次に「信仰」。「信仰は、イエスの視点から、見ることで…召命の識別の源です…信仰は、私たちの人生を広げるものです」（準備文書より）。現代社会の中で生きる若者に必要な「イエスの視点」「識別の源」となるような信仰を育む導きを教会は与えられているかを考える必要がある。

最後に「召命」。「聖書には召命の招きを受け入れ、それに応えた若者のたくさんの記述があります。信仰の光に照らされて、彼らは次第に、一人ひとりに対する神の深い愛の計画に気づきます。」（準備文書より）。すべての若者に約束されている固有の「神の深い愛の計画」という意味での召命を本シノドスでは取り扱っている。若者の数だけ召命はある。

教会は召命を生きていることが若者の喜びであると信じ、それを識別（見分け、解釈し、選ぶ）できるよう寄り添いたいと望んでいる。「若い世代に寄り添うという課題において、教会は、若者の喜びに協力するという教会の召命を受け入れます。」（準備文書より）



年間テーマを「信仰の証し」に加賀山準人殉教400年に向けて」と決め、全4回の聖書講座の第1回が4月22日（日）小倉教会で講師に深堀勝人神父（湯川教会）を招いて開催された。



講師の深堀勝人神父

聖書講座

本年度から新しく動き出した北九州地区信徒使徒職協議会の信仰育成部会。4月22日に聖書講座を、5月13日に典礼研修会を開催した。

北九州地区信徒使徒職協議会 信仰育成部会
学びを深め、信仰を生きる

典礼研修会

5月13日、主の昇天の主日に小倉教会にて北九州地区信徒使徒職協議会主催の「典礼研修会」が行われた。講師は武雄・多久教会主任司祭の十時伸治神父。十時師は、「基本的な意識を持って典礼に参加すること。とりわけミサでの所作、動作が持つ

殉教者は生き抜くために亡くなった「愛の証し人」であるということ、殉教者も私たちもいたいていいるお恵みは同じであり、生者と死者の繋がりによって、新しい命の旅立ちがあるというお話が印象的だった。



講師の十時伸治神父

意味を考えて行うこと」などを具体的に分かりやすく話した。また、聖歌、朗読とリーフレットの活用、共同祈願の構成と意向、ミサに集う子どもたち、高齢者、外国籍の人、ハンディキャップを抱えている人々への心配りなども丁寧に語った。

ミサの中で「立つこと」と「座ること」の意味や答唱詩編や第1、2朗読の時は座って沈黙のうちに言葉の意味を味わうことや、日常生活の心と魂を支えてくれる福音を聞く時に「立つ」動作には「復活」という意味があると聞いた時には新鮮さを感じた。五感を通してミサに参加する必要性を思った。

あいにくの雨模様であったが、100人以上の参加があり、参加者らは十時師の真剣な眼差しに魅了されていた。（報告）小倉教会 杉本恵子



7教区から司教、司祭、修道者が約70人集った

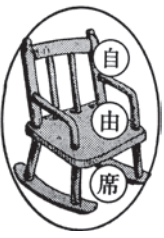
西日本司祭団親善ソフトボール大会
白熱した試合展開

司教の「交流会によって宣教師が深まるように」との挨拶、主の祈りをもって大会の火蓋が切られて落とされた。福岡教区チーム（監督：下町豊重神父）の成績は1勝1敗で、得失点差により残念ながら3位入賞に一步届かなかったが、初戦では12点を取った長崎教区チーム相手に4点をもぎとり、食らい付く姿勢を見せた。そして昼食を挟んでの2戦目、大分教区チームとの試合では打線がつかないで得点を重ねたが、満塁ホームランで4点を献上してしまふ。しかし、その後は堅い守備で得点を許さず、さらに追加点を加え、8・4で快勝した。2戦目はいわゆる全員野球で得た勝利だったため、喜びもひとしおであった。

今大会では優勝が長崎教区、2位が広島教区、3位が高松教区という結果となった。大会参加者の誰一人としてケガをすることなく過ごせたこと、またコート内の整備、審判、救護や昼食や飲み物の手配などに奔走してくださった近隣の教会信徒の方々の奉仕に支えられたことにも感謝し、第一部を閉じた。

第二部の夜の懇親会では懐かしい顔ぶれのなか、関門海峡の夜景を眺めての楽しい食事には話も弾み、楽しいひと時を過ごすことができた。教区を越えて同級生や友人、先輩、後輩などが一堂に会するこの交流会、来年の開催地は長崎教区。

参加者各々がこの集まりで蓄えた元氣や励ましを糧にして来年も集うことができるように願ひながら、それぞれの司牧現場へと戻っていった。



一枚の紙の力
ザベリイ宣教会司祭
レナト・フィリップニ

この度も両親訪問の機に、玉名、荒尾、そして武蔵ヶ丘教会の皆さんに折り鶴を折って欲しいとお願ひしました。その目的は、日本でも折り鶴を作る人、イタリアでその鶴をもらう人とのつながり、すなわち絆を結ぶためです。折り紙を折る人には、健康や世界平和、円満な家庭など、それぞれの願いを込めながら折って欲しいと伝え、折り

紙をもらった人には、その願ひの実現のために、慈善を行うことを約束してもらって、帰国して、イタリアで出会う様々な人に折り鶴を渡しているという母からの報告で、折り紙をあげた多くの人から、その約束を必ず実現するようにしようという言葉をいただいているそうです。折り鶴によって、日本にいる人とイタリアにいる人との間に縁ができました。お互いに面識がなくとも、人間同士の交わりの一環となるでしょう。一枚の紙の力。それは不思議な出来事です。そこから生み出されたものは、人間同士の信頼と協力ではないでしょうか。

読者の皆さまの声、思い、信仰の証しをお寄せください。
◆原稿は400字以内
◆投稿先…福岡カトリック司教館 教区報係宛
FAX 092-523-2152
メール cdf-kouhou@nifty.com

BOOK 読は専科

☆修道院の風



原造 著
競争 社会の真つただなか、隠れた修道生活へ。祈りの日々、折にふれて綴った随想集。

女子パウロ会発行
価格1100円＋税

☆あなたのすべてにありがとう
小児がんと闘った息子の四年半の物語
今井久美子 著
各章 冒頭で 柳澤隆 昭医師



の病状報告が伝える現実、最後まで未来への夢を語る今井一輝さんの健気さ、それを見守り続けた母親である著者の心の葛藤…。突然の病に倒れた一輝さんとご家族の、四年半にわたるいのちの記録。

ドン・ボスコ社発行
価格800円＋税

☆こころにみことばの処方箋
「世界に広がる『がん哲学』」
樋野興夫 著



講演 個人面談「がん哲学」
やん 哲 学

外来」で、がん患者さんや家族に「ことばの処方箋」を伝えている樋野医師。聖書のこことばをベースに、つらい病の中でどう生きていくのか、その希望を語る。

いのちのことば社発行
税込価格1080円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

年間目標

神のいつくしみを
さらに生き、広めよう！

「福岡教区ハンドブック 2018」お詫びと訂正

先日発行されました「福岡教区ハンドブック 2018」の記載内容に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。
下記の通り訂正をお願いいたします。

- 62 ページ
(誤) ドミニコ会 ピーター神父 今村教会・本郷教会協力
(正) ドミニコ会 ピーター神父 今村教会・本郷教会協働
- 77 ページ
(誤) 久留米信愛女学院幼稚園 (学校法人久留米信愛女学院)
園長: Sr. 平田マルエ
(正) 久留米信愛幼稚園 (学校法人久留米信愛学院)
園長: Sr. 横田君代
- 95 ページ
(誤) 聖小崎ホーム 施設長: 井手義孝氏
(正) 聖小崎ホーム 施設長: 竹山公浩氏

☆ハンドブック PDF 版の配布を始めました。PDF 版をご希望の方は小教区への通知を参照され、教区広報室宛にお申込みください。パソコン・スマートフォンでご活用いただけましたら幸いです。

カトリック福岡司教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口

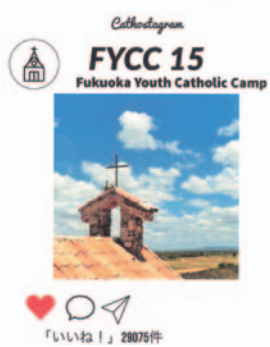
「カトリック福岡司教区ハラスメント防止基本宣言」「カトリック福岡司教区セクシャル・ハラスメント防止及び被害者支援に関する規程」が3月23日に施行されました(福岡教区報2018年4月号/718号3面参照)。

相談窓口 ☎ 080・2694・4182

<相談窓口受付時間>

月曜日～金曜日(祝日は除く) 10～12時、13時～16時
秘密は守られます。

中学生のための夏のキャンプ FYCC15 (福岡ユースカトリックキャンプ)



一緒に夏の思い出つくりよう！

福岡地区青年会有志が主催する中学生を対象とする2泊3日のキャンプ。神さまのもとに集う人と様々な体験を共有し、信仰を深め、仲間を作っていける場に…今年で15回目。洗礼を受けていない方も参加OK！皆様の参加をお待ちしています。

日程: 8月12日(日)～14日(火)
場所: カトリック二日市教会
対象: 福岡教区の中学1年生～高校3年生
参加費: 4,000円(兄弟姉妹割3,000円)
申込み: 7月15日(日)必着

小教区に配布されている申込用紙参照

問合せ: catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp

主催: 福岡地区青年会(担当司祭: 谷口尚志)

教区宣教委員会 エキュメニズム部 「救世軍」について学びの集い

定例委員会の際に、社会鍋でも知られるプロテスタント・キリスト教会の「救世軍」について、救世軍のメンバーを招き学びます。委員でない方も参加いただけます。

日時: 6月24日(日) 14時から
場所: カトリック大名町教会 一階講堂奥
問合せ: ☎ 092・741・3687 大名町教会・杉原神父

KBC九州朝日放送 「笑顔まんてん タビ好き」 前川清が今村教会を訪問

放映予定: KBC 7月1日(日) 正午～0:55

番組内で前川清氏が今村教会(福岡県三井郡大刀洗町)を訪問。主任司祭の竹森勇師と会話を交わす様子も!?

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 6・7月

6月9日(土)～10日(日) 月例黙想会(募集中)
17日(日)～18日(月) 聖マリア在俗会
23日(土)～30日(土) 奉獻生活者のための黙想会(募集中)
25日(月)～26日(火) 召命をともに祈る会

7月7日(土) ロザリオの集い
14日(土)～15日(日) 月例黙想会(募集中)
15日(日)～18日(水) 産業医科大フォーカシング実習
21日(土)～28日(土) 奉獻生活者のための黙想会(募集中)
30日(月)～31日(火) 福岡雙葉学園職員黙想会(全館貸切)

※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎ 0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ: 優れた祈りを手本にして

日時: 6月14日(木) 10時～15時

内容: 聖心の連願

指導者: フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)

問合わせ先: 真命山諸宗教対話・霊性交流センター

次回: 7月12日(木) ロヨラの聖イグナチオの祈り

☎ 0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町崎浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 6月2日、16日、7月7日、21日
10時～11時45分

場所: カトリック大名町教会小聖堂

◆ 福岡

■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時～12時半(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先) ☎ 092・521・2503 蓮尾

■聖ドミニコ信徒会集会(日時) 6月2・16日(土) 15時～17時(場所) 箱崎教会(内容) 聖ドミニコの霊性(指導) アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先) ☎ 092・651・3867 箱崎教会

■師イエス祈り会(日時) 6月8日(金) 10時ミサ後(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎ 090・7468・3631 西田

■レジオマリエ福岡クリア(日時) 6月10日(日) 14時～16時(場所) 高宮教会指導 D・ジョンソン神父(カプチン・フランシスコ修道会/高宮教会主任)(問合せ先) ☎ 090・9654・9969 日吉

■震災のための祈りのリレー(日時) 6月11日(月) ミサ7時から・夕の祈り(テゼの祈り) 19時から(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎ 070・2820・9613 Br. 阿部(パウロ会)

■聖書に集う会(日時) 6月13日(水) 14時～15時

時半(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先) ☎ 070・2820・9613 Br. 阿部(パウロ会)

■福岡チエナクルム(日時) 6月15日(金) 10時ミサ後(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎ 090・7468・3631 西田

■福岡召命を共に祈る会(日時) 6月16日(土) 9時半浄水通教会前集合(場所) 福岡コレジオ(内容) 10時ミサ・コレジオ生と交流、分かち合い(問合せ先) ☎ 092・921・4532 山口

■祈りの集い:「家庭の友」読書会(日時) 6月16日(土) 14時から(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(問合せ先) ☎ 092・5441・3730 松山※「家庭の友」持参

■第74回福岡典礼聖歌研修会(日時) 6月17日(日) 14時から(場所) 光丘教会(テーマ「詩編」を歌おう(講師) 深堀純氏参加費) 感謝献金(問合せ先) ☎ 092・5441・3730 松山

■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 6月19日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容) み心に捧げるグレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先) ☎ 096・380・5686 堺

■カルメル在世会集会(日時) 6月25日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話「三位一体の聖エリザベツ」(指導) 九里彰神父(カルメル会)(問合せ先) ☎ 095・828・2350 鶴池

■ラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)(日時) 6月29日(金) 19時45分から(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎ 070・2820・9613 Br. 阿部(パウロ会)

■美野島司牧センター降りて来てくださる神様と共に働きましょう◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時◆ホームレス支援炊き出し・夜回り第1金曜日調理15時・夜回り20時◆路上からアパートに入居した方を訪問第2土曜日13時(問合せ先) ☎ 092・431・1419 M・コース神父

◆ 熊本

■聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時) 毎週金曜日10時半～12時(場所) 手取教会信徒会館(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先) ☎ 096・384・1693 中川

◆ 北九州

■北九州召命を共に祈る会(日時) 6月14日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミサと茶話会(問合せ先) ☎ 0949・24・9905 藤井

■小倉祈りの集い(日時) 6月22日(金) 13時半～15時(場所) 小倉教会信徒会館2階(指導) 牧山勝美神父(内容) みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎ 090・3985・5209 松田

編集後記

さわやかな春の風はやがて暑さをもたらす夏の風になる。梅雨空も出番が増え、大雨に悩まされるようになる。教区報への記事の雨は有難い。割付に悩むほど集まってほしい。喜びも悲しみも分かち合うためにたくさん届けたから。

メモリードホーム

業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリード(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

一緒に働きませんか?
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室 いくま整骨院

平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊吉吉

サンパウロ
福岡宣教センター

営業時間:
平日 10:00～18:00
定休日: 日曜日、祝祭日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

レジナ
アポストロールド